

研究課題名	小児マイコプラズマ関連脳炎・脳症・脳脊髄膜炎に関する後方視的観察研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院およびお茶の水子供医療ネットワーク関連病院（東京医科歯科大学医学部附属病院、土浦協同病院、JAとりで総合医療センター、川口市立医療センター、都立墨東病院、東京北医療センター、草加市立病院、東京ベイ浦安市川医療センター、練馬光が丘病院）
研究責任者	所属 小児科 氏名 長澤 正之
研究期間	平成 28年10月 ～ 平成 29年 3月
研究の意義・目的	マイコプラズマ関連脳炎は小児脳炎の3%を占め、マイコプラズマ感染の0.1-1.0%に発症するとされます。一部の報告では、57%は回復、34%は後遺症を残し、9%は死亡との記載があります。症例報告は散見されるものの、多数例でのまとまった解析報告は少ない状況です。マイコプラズマ感染症は日常の診療で数多く遭遇する感染症であり、稀ではあるが重篤な合併症である脳炎・脳症・脳脊髄膜炎に関する詳細な臨床情報の収集は本合併症の実態把握のみならず、適切・迅速な診断および治療の確立に寄与するものと考えます。
研究の方法 (対象期間含む)	多施設共同の後方視的調査研究である。主研究施設である武蔵野赤十字病院小児科で計画書を作成し、共同研究施設にアンケート調査票を配布し、マイコプラズマ関連脳炎・脳症・脳脊髄膜炎を呈した小児患者に関する臨床情報を回収する。対象患者は、2011年から2016年の間に、武蔵野赤十字病院をはじめとするお茶の水子供医療ネットワーク病院（東京医科歯科大学医学部附属病院、土浦協同病院、JAとりで総合医療センター、川口市立医療センター、都立墨東病院、東京北医療センター、草加市立病院、東京ベイ浦安市川医療センター、練馬光が丘病院）でマイコプラズマ関連脳炎・脳症・脳脊髄膜炎と診断された小児（診断時0歳から18歳）とする。臨床情報の解析は、多変量解析等の統計的手法をもちいて行う。
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	各施設では連結可能匿名化を行い、主研究施設では匿名化された情報を管理・解析する。患者背景に関する情報としては、年齢・性別のみであり、限定的な個人情報だけを扱うのみである。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 小児科 氏名 長澤 正之  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525